

令和7年 労働者死傷病報告受理状況

平塚

労働基準監督署

(12月末現在)

業種	当 年 (令和7年)	前 年 (令和6年)	増減数	増減率
01 食料品製造	13 (1)	15	-2 (1)	-13.3%
02 繊維工業				-
03 衣服その他の繊維	6	2	4	200.0%
04 木材・木製品				-
05 家具・装備品	1	1		
06 パルプ等	2	1	1	100.0%
07 印刷・製本	2	2		
08 化学工業	16	15	1	6.7%
09 窯業土石	5	4	1	25.0%
10 鉄鋼業	2	3	-1	-33.3%
11 非鉄金属	1	4	-3	-75.0%
12 金属製品	9	14	-5	-35.7%
13 一般機械器具	3	10	-7	-70.0%
14 電気機械器具	4	6	-2	-33.3%
15 輸送機械製造	11	6	5	83.3%
16 電気・ガス	1		1	-
17 その他の製造	11	11		
01 製造業小計	87 (1)	94	-7 (1)	-7.4%
02 鉱業小計				-
01 土木工事	16	13	3	23.1%
01 鉄骨・鉄筋屋	8	11	-3	-27.3%
02 木造家屋建築	4	3	1	33.3%
03 建築設備工事	1	4	-3	-75.0%
09 その他の建築工事	3	16	-13	-81.3%
02 建築工事	16	34	-18	-52.9%
03 その他の建設	6 (1)	7	-1 (1)	-14.3%
03 建設業小計	38 (1)	54	-16 (1)	-29.6%
01 鉄道等	1		1	-
02 道路旅客	16	10	6	60.0%
03 道路貨物運送	49 (1)	59 (2)	-10 -(1)	-16.9%
04 その他の運輸交通				-
04 運輸交通業小計	66 (1)	69 (2)	-3 -(1)	-4.3%
01 陸上貨物	15	10	5	50.0%
02 港湾運送業				-
05 貨物取扱小計	15	10	5	50.0%
01 農業	3		3	-
02 林業		3	-3	-100.0%
06 農林業小計	3	3		
01 畜産業	1		1	-
02 水産業		2	-2	-100.0%
07 畜産・水産業小計	1	2	-1	-50.0%
01 剥壳業	13	5	8	160.0%
02 小売業	69	65 (1)	4 -(1)	6.2%
03 理美容業		1	-1	-100.0%
04 その他の商業	4	4		
08 商業	86	75 (1)	11 -(1)	14.7%
01 金融業	2	4	-2	-50.0%
02 広告・あっせん				-
09 金融広告業	2	4	-2	-50.0%
10 映画・演劇業				-
11 通信業	13	10	3	30.0%
12 教育研究	6	14	-8	-57.1%
01 医療保健業	34	43	-9	-20.9%
02 社会福祉施設	63	98	-35	-35.7%
03 その他の保健衛生	1		1	-
13 保健衛生業	98	141	-43	-30.5%
01 旅館業	3	2	1	50.0%
02 飲食店	31	24	7	29.2%
03 その他の接客	13 (1)	14 (1)	-1	-7.1%
14 接客娯楽	47 (1)	40 (1)	7	17.5%
15 清掃・と畜	27	20	7	35.0%
16 官公署				-
01 派遣業				-
02 その他の事業	13	21	-8	-38.1%
17 その他の事業	13	21	-8	-38.1%
合 計	502 (4)	557 (4)	-55	-9.9%

※ 各欄左側の数字は休業4日以上の死傷者数、右側( )内は死亡者数(内数)